

## 熊本国際空港（KKIAC）× 仁川国際空港（IIAC） 連携協定を締結しました

熊本国際空港株式会社（KKIAC）と仁川国際空港公社（IIAC）は2024年11月6日、熊本と韓国のさらなる交流を促し、阿蘇くまもと空港と仁川国際空港の国際線ネットワーク強化を図ることを目的に、連携協定を締結しました。

協定の締結式は同日、仁川国際空港庁舎であり、熊本国際空港の山川秀明代表取締役社長と、仁川国際空港の金昌圭（キム・チャンギュ）未来事業本部長が協定書に署名しました。熊本県企画振興部の富永隼行部長が立会人を務め、締結を見守りました。



▲仁川国際空港での締結式の様子

### 【連携協定締結の背景とねらい】

熊本—仁川路線は2023年1月からティーウェイ航空がデイリー運航を再開し、好調を維持しておりますが、今年11月7日よりアジアナ航空（週3便）、11月24日からは大韓航空（週7便）がそれぞれ運航を再開することとなり、計週17便となります。こうした航空便数の増加を見据え、今年9月に熊本国際空港からアプローチを行い、連携協定締結が実現しました。東アジアの国際線ハブ空港である仁川国際空港との接続強化で利便性の向上を図り、両空港による効果的なプロモーション活動を通して観光客やビジネス客の利用増加を目指します。

仁川国際空港とすでに連携協定を結んでいる日本の空港は、新潟空港、青森空港、静岡空港、仙台空港、新千歳空港、広島空港、岡山空港で、熊本は8カ所目です。熊本国際空港にとって、空港を相手にした連携協定締結は初めてとなります。

### 【連携協定の主な目的】

協定締結により、阿蘇くまもと空港と仁川国際空港の国際線ネットワークを強化し、熊本と韓国のさらなる交流や発展、地域経済の活性化を図ることを主な目的としています。具体的には、次の3点を目標に掲げます。

1. 熊本－仁川線の利用促進
2. 乗継需要の創出・拡大
3. 空港運營業務における連携強化

こうした取り組みの中で両空港の利便性と認知度を高め、さらなる利用者の増加を目指します。

### 【期待される効果】

熊本国際空港としては連携協定を通じた、阿蘇くまもと空港の国際線ネットワーク拡充に期待します。仁川国際空港は北米、ヨーロッパ、アジアなど189都市（今年5月時点）に路線があり、乗り継ぎで世界の各都市にアクセスできます。国際線接続強化により、阿蘇くまもと空港の競争力が高まります。

また、両空港で協力したプロモーション活動を展開することで観光客やビジネス客のさらなる増加が見込まれ、地域経済の活性化に貢献することができます。さらに、空港運營業務でも連携を図ることでサービスの向上と効率化が進み、利用者にとってより便利で快適な空港環境が提供されます。

今後も熊本国際空港は、熊本と世界をつなぐ重要な拠点として地域のニーズを捉え、地方空港ナンバーワンの国際線ネットワークの実現に向けて取り組んでまいります。



▲阿蘇くまもと空港



▲仁川国際空港

### 【お問い合わせ先】

熊本国際空港株式会社 総務・経理部

電話 096-232-2311

(平日 午前9時～午後5時)